

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「川口市ターゲット バードゴルフ協会」

昭和44年に川口市の野嶋孝重氏が考案し、生涯スポーツとして全国に普及したターゲットバードゴルフ。その普及のために、昭和60年4月に「川口市ターゲットバードゴルフ協会」が設立されました。狭い場所でもフルスイングできる爽快感、簡単に究められない技術的な奥の深さなど一般のゴルフに近く意外性の醍醐味があるターゲットバードゴルフの輪を広げてきたみなさんを、岡村市長が訪問。活動内容などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。今年も早いものであと2カ月です。大震災や台風など本当に大変な一年でしたが、健康にお過ごしただけだと思います。今月の市長のふれあい訪問は「川口市ターゲットバードゴルフ協会」のみなさんです。どうぞよろしくお願いします。

ターゲットバードゴルフはどのような競技なのでしょう。

濱野 簡単にいうとミニゴルフです。昭和44年に、本市の野嶋さんが考案された川口生まれのスポーツで、年をとってもゴルフの爽快感を狭い場所でも楽しめる生涯スポーツです。

市長 普通のゴルフとはどう違うのですか。

岡田 基本的にはゴルフと同じですが、クラブは一本しか使いません。打つ時は専用のマットを敷き、その上に羽のついたボールを置き打ちします。ゴルフだとカップに入れホールアウトですが、傘を逆さに立てたようなかごに入れます。



市長 ボールに羽がついているので飛距離が出ないのですね。

岡田 ショートホールの距離は20メートルですが、ちょうどホールインワンができるくらいしか飛びません。

市長 なるほど。最後にかごに入れることになりませんが、では、かごの下に入ってしまった時は、打てなくなりますよね。

岡田 その場合は「セカンド」と言って、かごの下に置かれた輪に入ればホールアウトです。

市長 何ホールあるのですか。

岡田 ゴルフと同じ18ホールで行います。

市長 ゴルフが上手な人ほど、ターゲットバードゴルフも上手なのです。

湯浅 私はゴルフ未経験者ですが、ターゲットバードゴルフを16年間楽しんでいきますので、あまり関係はないと思います。

市長 そうですか。ところで、ターゲットバードゴルフ協会はいつ設立されたのですか。

濱野 昭和60年に川口市の協会と埼玉県の協会が同時に誕生しました。

岡田 今では、県内に19協会あり、北海道と長野県を除いて日本全国にあります。その中で埼玉県は会員数が一番多いです。

市長 発祥の地ですからね。市内では各地域にクラブがあると伺っています。

岡田 町会単位で作られているクラブが25団体あり、会員数は約500人です。専用コースも市内には新郷、上青木、北スポーツセンターの3コースあります。

市長 大会もあるのでしょうか。

鈴木 協会会長杯、市長杯など年6回の大きな大会があります。

湯浅 県の大会も6回あります。市の大会とは別に予選からあり、県大会を勝ち進むと関東大会、全国大会があります。

市長 生涯スポーツと伺いましたが、平均年齢は何歳ですか。

濱野 70歳代ですね。最高齢は83歳です。

市長 その年齢まで気軽に

できるスポーツということですね。技術が結構いるのでやればやるだけのめり込んでいくのでしょうね。それではこれからの抱負をお聞かせください。

濱野 川口のターゲットバードゴルフの発展のためにも多くのかたに入会していただきたいと思っています。誰でも気軽にできるスポーツですので、コースの近くに來ましたら立ち寄ってください。貸し出し用のクラブも用意してありますので、一度体験してみてください。

市長 ありがとうございます。お年寄りでも気軽にできるスポーツですので、ぜひご参加いただければと思います。今日はどうもありがとうございました。

